

「サテライトキャンパスひろしま」の運営の見直しについて

1 要旨・目的

広島県公立大学法人（以下「法人」という。）が運営している「サテライトキャンパスひろしま」について、法人から施設を返還したい旨の申入れがあったため、法人への施設の貸付を終了することとし、今後の大学連携の取組については、関係者の意見を十分に聴きながら対応を検討していく。

2 現状・背景

- 県立広島大学及び県内大学共用のサテライトキャンパスとして活用するため、県民文化センターの一部（5F、6F）を法人に無償で貸し付け、法人において、「サテライトキャンパスひろしま」を開設した（平成25年度）。
- サテライトキャンパスでは、県立広島大学の公開講座のほか、県内大学等が連携し、単位互換や高大連携講座等が実施されてきたが、コロナ禍を経て、オンライン授業の浸透等により、近年利用者数が伸び悩んでいる。
- こうしたことから、法人から、サテライトキャンパスの運営を終了し、県に施設を返還したい旨の申入れがあり、県及び法人で協議を進めてきた。

3 概要

(1) 対象者

大学生、高校生、社会人等

(2) 事業内容

- ・名 称：サテライトキャンパスひろしま（運営主体：広島県公立大学法人）
- ・貸付場所：広島県民文化センター5階・6階（一部）
- ・貸付期間：平成25年4月1日～令和10年3月31日（令和5年4月に更新）
- ・施設概要：大講義室（100人）2室、中講義室（50人）2室、会議室1室、交流・情報発信スペース（自習等）
- ・用 途：県内大学等の連携による単位互換、高大連携講座や県内大学による公開講座の開催 等
- ・利 用 率：

年度	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
利用率	47.1%	52.8%	18.4%	12.9%	23.5%	19.2%	24.6%

※ 算出方法：講義室ごとの利用日数／（5室×年間開館日数）

(3) スケジュール

施設の県への返還や、今後の大学連携について、関係者と調整・検討し決定する。

(4) 予算

—

(5) 今後の対応

- 運営終了の時期について、関係者と調整して早期に確定させるとともに、法人と調整の上、法人からの円滑な施設の返還を進める。
- 併せて、今後の大学連携の取組についても、県内の大学コンソーシアム（大学連携の推進組織）である一般社団法人教育ネットワーク中国や、県内大学等の意見を十分に聴きながら対応を検討していく。

4 その他

サテライトキャンパスひろしまHP（県立広島大学HP内）

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/satellite/introduction.html>